

南信州広域連合第4回広域連合会議 結果報告

日時：令和6年7月18日(木) 16:26~17:20

場所：県飯田合同庁舎301号会議室(講堂)

【出席者】14市町村長、副管理者

〔長野県林務部信州の木活用課〕千代課長
〔南信州・飯田産業センター〕遠山事務局長
〔飯田市企画部企画課〕澤柳課長
〔南信州地域振興局〕岩下局長
〔飯田建設事務所〕唐澤所長
〔飯田広域消防〕北澤消防長、新井消防次長兼総務課長
〔飯田環境センター〕松下事務長
〔事務局〕吉川事務局長、滝沢事務局次長兼総務課長兼地域医療福祉連携課長
壬生広域振興係長、伊藤庶務係長、宮崎庶務係主事

1 開会…16時26分

2 広域連合長あいさつ

会議が予定より、かなり遅れているため挨拶は省略する。

3 協議・報告事項

(1) 木曾谷・伊那谷フォレストバレーについて【千代課長】～資料No.1～

ア 概要

木曾谷・伊那谷は、森林や林業に関する教育機関や試験研究機関等が比較的近距离で集積し、木や森を活かして豊かな社会を作るための知識・技術基盤が整った全国的にも特徴のある地域である。今後、リニア駅が飯田市に建設されることで、交流人口の増加も期待されている。こうした地域の強みを活かして、ここを「フォレストバレー」と呼び、関係機関の連携による質の高い学びの機会の提供や、既にある知見を活かした産業支援を展開し、人材の育成、輩出及びイノベーションの創出を図る取り組みを今年度からスタートする。

イ 推進体制の整備、周知

今年度は初年度であるため、運営協議会を設置し、協議と合意形成の仕組みを作ると共に、民間の専門家からなる専門委員会を設け、さまざまな民間のアイデアを活用しながら取り組みを進めていきたい。

専用のwebサイトの設置や関連イベントの開催により、認知度を高めていきたい。

ウ プロジェクトの実施

- ・メインプロジェクト・・・ 教育機関、試験研究機関等が主体的に展開するプロジェクト
- ・関連プロジェクト・・・ 市町村や民間団体等が実施する提案型プロジェクト

エ キックオフイベント

開催日：令和6年8月8日(木) 14時30分から16時30分まで

場 所：木曾町文化交流センター多目的ホール

(主な意見等)

高森町：取り組み自体は素晴らしいものだと思う。教育関係で展開したいという話があったが、なぜ南信州圏域の高校等が選ばれていないのか。地図を見ても南信州圏域はリニア中央新幹線駅があるというだけで、上伊那や木曾が主導で疎外感を感じてしまう。

千代課長：実際は、林業等の既存の教育機関や高校等をとりあえず記載している。今後、幼児教育や保育、建築等さまざまな展開が考えられる。エス・バードについては、林業、木材産業において、あてはまるものがないので記載していないが、今後の展開の中で仲間に入っていただきたい。

高森町：木を切って売るということに関しては、根羽村の森林組合等さまざまな取り組みをしているところがあることを認識して頂き、一つの産業として成立させるためには、教育と出口戦略が重要である。そこを県が一生懸命作るのであれば協力したい。頑張っている人たちに陽が当たるような取り組みをお願いしたい。

豊丘村：新しい産業を生み出すという観点で儲かる切り口が出てくると良い。

連合長：この協議会や専門委員会を活用するために、我々がどのように関わっていくイメージを持てば良いのか。

千代課長：スタートしたばかりでルールがしっかりと決まっていないので、協議会を作って決めて行きたい。各市町村が木や森に関する新しい取り組みを行うときに予算を付けて支援をすることがメインのプロジェクトになる。関連プロジェクトは、募集期間を決めて新しい事業プランを提示して頂き、県が応援する。財源が充実しているわけではないので、審査のルール等はこれから考えて行かなくてはならない。

連合長：例えば、飯田市の地域おこし協力隊で遠山の材を使ってキャンプのギアを作っている方がいるが、その方が、このプロジェクトに関わろうとしたらどうしたらよいか。

千代課長：事業を提案する機会を設けて、その翌年度に予算を確保して支援をする。

(2) 産業振興と人材育成の拠点(エス・バード)の管理・運営状況について【遠山局長】～資料No. 2～

※エス・バードの管理・運営状況について、資料を基に説明がなされた。

「南信州広域連合産業振興と人材育成の拠点条例」に定める拠点の設置目的に沿って、同条例で指定管理者が行うこととされている業務について、管理業務に携わる従事者を配置し、関係法令及び基本協定書等を遵守して適切に実施した。

令和5年度の利用件数は1,051件で前年度に比べて79件増加し、利用者数は、36,340人で前年度に比べて約3,300人増加した。

施設使用料収入は、26,547千円で、前年度比12%の増加となった。

→質疑等なし

(3) 南信州定住自立圏共生ビジョンの改訂について【澤柳課長】～資料No. 3～

定住自立圏は、圏域全体で必要な生活機能等の確保を図るため、中心市と近隣の町村が一对一で協定を締結し、お互いの役割を分担しながら取り組みを進めて行くための仕組み。南信州広域連合は14市町村のスケールメリットを生かしながら、広域にわたる事務事業を共同で推進しており、広域連合による地域経営と定住自立圏による生活環境整備は補完する関係である。

南信州定住自立圏共生ビジョンは、これまで5年ごとに3期にわたって共生ビジョンの改訂を行った。

今後のスケジュールは、本日広域連合会議で報告後、国及び県に報告する。

→質疑等なし

(4) 桐林クリーンセンターの解体について【松下事務長】～資料No. 4-1、4-2、4-3～

※桐林クリーンセンター解体工事説明会で出された質問の概要について、資料を基に説明がなされた。

令和6年6月28日付で「桐林クリーンセンター解体工事に関わる環境保全協定」を締結し、工事施工にあたり、生活環境の保全を図る。

あわせて、6月末で閉館した桐林リサイクルセンター事業について、資料を基に説明がなされた。

→質疑等なし

- (5) 第5次広域計画の策定について【吉川局長】～資料No. 5～

第5次広域計画策定委員会を1回、第5次広域計画検討会議を2回開催した。検討した内容は、8月の広域連合会議で報告し、首長各位のご意見をいただきたい。

【課題共有型円卓会議の開催について】

日 時：令和6年7月31日(水) 14時から

場 所：南信州広域連合事務センター

参加者：第5次広域計画策定委員会委員(28名)

第5次広域計画検討会議委員(29名)

(市町村長)、副管理者

内 容：第5次広域計画策定委員会と第5次広域計画検討会議の合同会議。この地域の課題として検討の中でクローズアップされてきた人材不足について、課題を共有する。

→質疑等なし

- (6) 「介護のしごと相談会」開催報告について【滝沢次長】～資料No. 6～

日 時：令和6年6月22日(土) ①10時00分から12時00分 ②13時00分から15時00分

場 所：エス・バード

出展内容：介護事業所 18ブース

協力団体 2ブース

介護用品・ロボット展示・体験コーナー

来場者数：17人

相談数：52件

→質疑等なし

- (7) 飯田広域消防から【新井消防次長兼総務課長】～資料No. 7-1、7-2～

令和6年上半期「消防統計」について

出火件数 39件(前年同期比3件減)、救急件数 4,047件(前年同期比210件増)、救助件数 52件(前年同期比1件増)。

※熱中症疑いによる救急搬送の状況と熱中症予防に係る広報活動について、資料を基に説明がなされた。

- (8) 後援依頼について【伊藤庶務係長】～資料No. 8～

事業名：第50回全日本天竜川カヌー競技大会

開催日時：令和6年8月25日(日)

場 所：天竜川万年橋付近から弁天港付近

主 催：高森町

→ 異議なし。承認となる。

(9) その他

ア 伊那谷だよりについて ～資料No. 9～

地域医療アドバイザーに委嘱した松岡先生が「伊那谷だより」を発行したので、関係者へ作成したものを配布する。

イ 信南交通との協定について

南信州広域連合と信南交通とのプロドライバーの確保に関する協定の調印について、令和6年7月19日(金)の朝に調印を行う。

→質疑等なし

4 長野県から

南信州地域振興局【岩下局長】

現在、長野県の人口減少対策戦略の策定について準備を進めており、戦略へ反映するために意見交換を様々な機会で行っている。当地域においても、保育士のグループと意見交換を実施した。今後、人口減少が進む中で、行政サービスの提供体制をどうするかも大きな視点の一つとなる。

5 閉会・・・17時20分